

この鑑定は、これから焼肉屋をやるとうする夫婦がいて、その夫婦仲がどうも別れる何のと優れないので、心配した息子の母親が相談して来たものである。

ベーシック靈魂靈感鑑定 00夫妻様

陰陽道研究所 陰陽師 観音來光

世尊は申されております。「..ま、あまり心配することではない。この夫婦は似た者同士であり、そうして喧嘩をしているうちが華である。悪く言えば腐れ縁でもあろうが、しかし目下、離縁の危機に直面はしている。だからあなたも穏やかなさしめ、円満と和合に努めて上げるが良い...」と。どうしてなのかと思い、互いの前世を降霊して見ました。何故なら双方とも結構な資質と性格を持ち合わせているからであります。まず旦那さんです。一代前の前世は、鄙びた港で舟を漕ぎながら漁師を営む極めて地味な人物でありました。奥さんと二人で仲よく魚をしている姿が示現されております。そのお方が申されております。「..こうして地味で平凡が良い。女房と、こうして仲良く仕事が出来て暮らせるのが何より一番だ...」と。その光景はかなり地味なもので、人里離れた港のそばで細々と夫婦仲よく魚をしている姿が降霊されております。そして奥さんですが、その一代前の前世は、そうした旦那さんのそれとは月とスッポンほどの違いで、都会で何不自由なく会社社長の優秀な旦那さんを持ち、そして自らも活発に派手に近所付き合いをする派手好みの社長夫人でありました。そのお方が申されております。「..人生、こうして素敵な旦那を掴み大いに楽しまなきゃだめよ。旦那によって女の人生は決まるんだから...」と。成る程、私としては何も申し難いです。まさにその通りであります。それにしてもあまりにも異なるお二方の因縁です。二代前以降は、旦那さんについては何時の時代でしょうか、威勢の良い、一心助けのような魚屋さんが登場しました。奥さんはやはり何時の時代でしょうか、どちらかの殿様の奥方が登場しました。残念ながらもう明らかですね。たとえ今生、お二人は似た者同士の性格、資質的因縁を有していたとしても前世から判断すると全く縁があったとは感じられないですね。二代以前は、まず身分が異なります。そして一代前は、もはや何も言うことはいけません。ここで世尊に、どうすべきか再び尋ねました。こう申されておりました。「..ま、良いのだよ。今生は今生なのだから。あなたが、可能ならコントロールして安泰ならしめてあげるが良い...」と。ふむ！と正直、私は考えてしまいますね。或いは焼肉屋ではなく、魚屋、いや海鮮料理なら旨く行くのではと考えもしますが、しかしもう焼肉屋に改装し、この22日からオープンと言う事です。果して、実はお二方の現在、そしてこれからの相性を霊視しておりますが、明らかに今年一杯、別れが暗示されており、来年からはその影響でお二方とも何かドロドロとした憂鬱な機運になることが暗示されております。これは正直、決して世尊が鼻屑目に喧嘩をしているうちが華だよと申されても安閑と構える訳には行かない現実と判断致します。さて、ではどうするかです。頭を悩ませますね。お母様も、何とかしようと思案するところですね。一般の占術からも今年は何か、良いにせよ、悪い事にせよ、物事が明白になる時ですね。そして明らかに悪しき事が明白になる可能性がありますね。具体的には離縁とか、離合集散です。そして来年は仕方なく原点に戻って何事かを再スタートと言う事になりますね。しかしそうしたら大変です。お二方にとって何もメリットはありません。ここは踏ん張るしかないです。私も、世尊が促すように徹底して支援し応援するつもりです。それには、勿論、私が出来るとは強靱な念の力を用いた念力祈祷です。お二方の写真、いつの時代のものでも良いです、郵送で送って頂ければ直ちに遠隔にて私単独で念を及ぼして差し上げます。これは、しかしあの世とのやり取りですから次元が異なり、施せば必ずこうなるとかと言った事は決して申せませんが、しかし経験的に様々な先例からそれなりの効果はあるようですと言う事ははっきりと申せます。祈祷料は正直、私自身の無形のエネルギーを、命を削って行うようなそのエネルギーの消耗を伴う決して安直ではない作業です。従って御一人様につき一律三万円の浄財は頂くようにしておりますが、この度の場合は既に一万円を頂いておりますから、残り五万円も御振込み頂ければ写真が到着次第、直ちに夫婦和合の祈祷と、勿論これからの商売繁盛の祈祷の双方を施して差し上げます。勿論、係る祈祷は、お母様のあくまで所望次第と言う事になります。でも出来ますならこの際、強靱な念を送って差し上げたい気持ちであります。何も対策を施さないと虚心坦懐に私は思いますが、この暮れまでにお二人は離縁にならないとも限りません。そうすると一大事ですね。どうぞお考えになってみて下さい。次にお二方の資質、人格的な鑑定結果を記しま

す。

まず旦那さんです。この旦那さんは、実は鑑定上は大変な独立自尊に富んだ大物の器を有している猛者です。それが何故にそうした能力が実際に現実に反映されないのか不思議なのですが、人間万事塞翁が馬、やはり運命は測り知れないし、そして前世の因縁は大事であるし、また伴侶との因縁の合体作用によって実際、如何様にも変わり行くものでもあります。とにかくこの旦那さんは人に制約されたり、命令されたり、使われたり、指図されるのを好まず、まさに独立独行のタイプで、常に自分の権威とか、自尊心、そして支配欲を大切に、そして何事にも権威欲を發揮し自尊心をとことん反映できる生活、そして仕事の間を早くから選ぶようになります。それだけまた器が大きいですから普段、人以上に研鑽を図り、高い能力なり実力をそれこそ早めに確立する必要があります。これが万が一にも不足するとむしろ分不相応の重荷を背負う結果となり、その強烈なストレスから何か事が旨く運はないと途端に強烈な欲求不満が巻き起こり、遂にはそれがあらぬ世界で爆発を引き起こし詰まらぬ汚名を馳せないと限りません。それほどにこの人物にとって高い教養と実力の是非は成敗に関わる重要な要素で、不足が生じると優れた長所が途端に短所へ転じ、様々の悪戯をすることになります。本来この人物は比較的公明正大な考え方をもち、仁愛仁義も殊の外重んじる頭領的親分肌です。だからこの要素が一度成功の軌道に乗ると周囲から結構な人気を博して一層の成功へ導かれるものとなります。考え方も結構ドライで決してウジウジしません。結構またシャープな頭脳も持っており、気に入らないと相手を一瞬にしてバツサリと切り捨て地獄へ突き落すことも辞さないです。それだけに常々意志のコントロールは大切に、何か旨く行かないと一朝にして爆発して何もかも元の木阿弥に帰すこともままあります。とにかくこの人物にとって自信過剰と唯我独尊の心境の増長は要注意で、人間関係に不和をもたらせ、自ら取り返しのつかない破滅へといざなってしまうものとなります。要するにブレーキが必要です。或いはこのブレーキ役が奥さんなのかもしれません。しかしこの奥さんがまた同じような性格で、ただ奥さんの方が教養がずっと高いです。だから旦那さんの時として無鉄砲ぶりが鼻に付いて許せないのです。でも何を言われても旦那さんは態度を変えません。それがまた癪の種で、喧嘩は一層激しくなります。しかしどうあれこの奥さんは大変な男勝りの頭領的姉御肌で、頭脳も極めて明晰、所謂才女で、自尊心も人一倍強く、かつ勤勉で人の上に立つことを常に目標にしており、そして何事にもスケールの大きな事、鮮烈な事を好みます。この辺が旦那さんの一代前の前世に於いて極めて不釣り合いなところで、まず旦那さんはストレスを抱かざるを得ない事態となります。しかし旦那さんも本質的にはその器量は正直、奥さんに負けず劣らず大きいです。でも何か、何故か宿世の因縁に於いてボタンの掛け違いがあるわけです。そんなことは気にせず旦那さんも、「おお、分かった！」と十分に奥さんの気持ちを満たし得ればよい訳ですが、しかし奥さんの器量と、それから生じ得るその望みは果てしなく大きいです。ま、とにかく一考を要しますね。でも、もし二人がまさにしっかりと意気投合して合体すれば、それこそ大変な成功と繁盛を極め、大いなる人生上の繁栄を掴むこと請け合いです。だからこそここは私も応援し、なんとかそうなるように仕向けて上げなければと思ひ抱くわけであります。ここは、この時点は重要な賭け、人生上の去就、岐路の局面ですね。果して良き方向へ方向づけなければなりません。でないこの先、散々な結果が生じないとも限りません。奥さんのラッキーカラー、オーラカラーはブルー系、旦那さんはレッド系と暗示されております。尚、奥さんは、その頭脳の優秀さが時として禍の元凶となりますから、努めて伴侶の選び方には注意しなければなりません。中途半端な普通程度の男性であると必ずその男性を単に剋することになり、関係は破綻してしまいます。それならむしろ奥さんを陰で優しく支えてくれるような或いは紐的な男性の方が無難と言う事になりますが、しかし勿論、奥さんを凌ぐようなヤリ手の男性も相性は最高です。ただこの場合は家庭がやや落ち着いたかなくなる傾向が生じますが、しかし社会的には大いなる繁栄を掴むものとなり最高です。果して旦那さんは、私は後者のタイプであればと判断しておりますが、しかしここはその前世の因縁も少々加味しなければなりません。そして勿論、焼肉屋より海鮮料理屋が因縁としては最高であることを申し添えたいと思います。しかしスタートは焼肉屋です。ここは取り敢えずそれに沿ってその成功を考えた方が良く決めてます。

以上であります。祈祷を行う場合は御連絡下さい。お二人の写真を送ってもらう必要があります。別々で撮ったものでも良いし、また何時の時代のものでも構いません。お二人の魂を特定する為のものです。では失礼いたします。

平成 00年 0月 0日